



～我が事・丸ごとの地域づくり～
地域づくりフォーラム
実施報告書



主催：松戸市

01 ▶

目次

事業の概要

P3

15 地区の報告

P4

各データ一覧

P34

エンディングトークセッション

P35

事業名

～我が事・丸ごとの地域づくり～
地域づくりフォーラム

背景

少子高齢化や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化など地域社会を取り巻く環境の変化に伴う、制度の狭間や複合化多様化した相談に対応するためには、これまでの制度やサービスでは支援が困難な事案も多く、新たなつながりや新たな支援の創出が求められている。また人口減少社会においては、支援の担い手不足や支援拠点の不足といったことも課題となっている。

目的

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として地域づくりに参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」で住民の暮らしを支えていく必要がある。

本事業を通じて、地域住民が、自分の住む地域の課題を認識し、自分たちで解決する意識を醸成するとともに、地域の課題や資源を持ち寄り、個々人の持つ力を合わせて「地域ケア会議」に結集していく仕組みづくりを目的とする。

運営

松戸市高齢者支援課、地域包括支援センター、NPO 法人まつど NPO 協議会、聖徳大学が事務局となり、市内 15 地区の地域住民の方々と実行委員を立ち上げて企画運営を行っていった。

全体の様子

各地区で実行委員会の人数や属性にバラつきはあるものの、総じて高齢者分野だけではなく、子どもや子育て支援、障がい、商業関係者など他分野のステークホルダーが集まっていた。また年代も幅広く、民生委員や町会関係者、NPO や市民活動団体の担い手といった、これまで知り合うことがなかったメンバーによる交流や新しいつながりにもなっていた。

フォーラム当日の企画については、地域の活動・居場所の紹介といったものから歴史を振り返るもの、また子育て世代をターゲットとした交流イベントや街歩き、食べることを通じて対話を生み出す場づくりなど、各地区の特性に合わせた多様な内容となった。

＜成果＞

- 実行委員会において肩書きに関係なく地域の課題を検討し、新しいアクションや人のつながりを生み出すことができた。
- イベントにおいて普段地域に参加することがない層に対してある程度アプローチすることができた。

＜課題＞

- 今回の企画をどのように継続して地域の課題解決につなげていくことができるのか、引き続き検討していく必要がある。
- 既存の組織や仕組みとの違いを整理し連携していく必要がある。

得られた
成果と課題

地区名

明第1地区

タイトル

あったか芋ん～寒いのでお芋を焼きます～

目的

地域のつながりづくりの場やイベントに普段は出てこない・出会えない人、みんなが集まる場・居場所には参加しにくい人も、「そっと」その場にいられるようなやさしい仕掛けができないか。という声から、焼き芋をキーワードとしたイベントを企画した。ただ単に公園で焼き芋を配るだけではなく、こちらからアウトリーチする形で日頃あまり家から出ない方々にお届けしたり、困った時の連絡・相談先をお知らせして今後につなげたり、といったことも盛り込んだ。

開催日時

平成31年2月26日（火）14時00分から16時00分まで

場所

旭ヶ丘第三公園

内容

公園での焼き芋・お茶・コーヒーのふるまい、単身高齢者をはじめとしたデリバリー、お渡しする時のちょっとした会話、困った時の相談先・連絡先の配布

当日参加者数

415名（うち運営スタッフ15名）

参加者の傾向

高齢者：200名、子ども80名、子育てママ・パパ40名、
障がい者・要介護者：30名、関係者・協力者50名

参加者の声

- ・芋を食べている子どもを抱きながら、離乳食の相談をしている子育てママがいた。
- ・公園に人が集まることよりもデリバリーが重要だと思っていたが、障害者施設の管理者が「たまたま」公園を通りかかって、利用者たちを連れてきてくれた。
- ・ずっとひとりで、その場でニコニコしながら長い時間公園にいた気になる青年がいた。話を聞いてみたら、親が介護が必要だと思うのだが、本人が望んでおらず、経済的にも困窮している。支援につながればと情報提供した。
- ・総台3町会の地区にデリバリーし友愛訪問（町会福祉部）した際にお配りしたお芋は大変喜んでいただいた。

評価

- ・400名の人に参加してもらえたぐらいなので、焼き芋というコンテンツは良かった。そして、多世代・多様な人が自然と混ざり合う場になった。距離感が縮まって、自然と会話が生まれていた。
- ・地域の様々な人が協力して運営できたことがよかった。町会・自治会をはじめとした方々の力を感じた。日頃から連携・関係性をつくってきたことがつながった。個別に子育て世代にチラシをポスティングしてくれた民生委員さんもいた。男性シニアの方々がかかなり活躍してくれた。
- ・イベントの効果検証の工夫は必要。ただ様々なエピソードから関係性の変化などが把握できた。焼き芋と一緒に配布した「相談先・連絡先」にルビをふったり、文字のサイズを大きくしたり、そういった工夫が必要だったかもしれない。
- ・デリバリーした人、接点を持てた人への継続的なモニタリングが必要。
- ・半ば引きこもりになっていていつも接点がない人に辿りつく

明第1地区

寒いので(落ち葉で)お芋を焼きます

あったか芋ん

地域の皆さま大歓迎

焼き芋で地域の交流づくり

2.26

火 午後 2:00 ~ 4:00

荒天の場合は 3/5(火)に延期

無料配布
(数量限定)

会場：旭ヶ丘第三公園
(ヤマダ電機の裏)公園に駐車場はありません



主催
松戸市地域づくりフォーラム明第1地区実行委員会
松戸市高齢者支援課

協力：胡録台南自治会 旭ヶ丘町会 みなづき町会 胡録台高見自治会
岩瀬南自治会 野菊野団地自治会

問合せ：明第1地域包括支援センター TEL.047-700-5881



地区名

明第2西地区

タイトル

坂川防災祭り

目的

当該地区において災害対策（防災）は昨今の重要テーマであり、地域住民もその必要性を感じている。また一方で、多世代が交流する機会は少ない側点は課題であり、日頃からの繋がりが必要である防災では障壁となる。地域の歴史を知ることや体験、ゲームなどを通じて、災害対策への理解を深め、多世代が交流することを目的とした。

開催日時

平成31年3月17日(日)13時00分から16時00分まで

場所

古ヶ崎市民センター2階

内容

- ・講演「坂川と水害の歴史を知ろう」国土交通省
- ・防災クイズ・ゲーム（的当て、棒サッカー、さかな釣り）
- ・「AED講習」松戸市消防局西口消防署
- ・「避難所運営ゲーム」松戸市危機管理課
- ・「防災グッズ紹介、非常食試食会」ユニディ、コープみらい
- ・非常食（アルファ米）試食会

当日参加者数

126名（うち運営スタッフ 41名）

参加者の傾向

全参加者中子供は約2割（126名中28名）
参加者居住地：古ヶ崎・栄町が約9割、男女比は4・6
チラシを見て参加された方は約7割

参加者の声

「楽しかった、勉強になった」
「避難所の運営について、障害のある人、外国人などいろんな人が来て、確かにそうだと思う。びっくりした。」
「最初の国土交通省の話を町会単位でしてもらえるといい」
「試食だけでなく、販売してもらいたかった。ホームセンターまで行く足がないので」

評価

当初の目標人数であった100名は達成し、古ヶ崎市民センター周辺の地域住民を中心に高齢者のみならず子供の参加者も見受けられた。またチラシを見て参加された方も大多数が占めたことは、チラシからなにかもらえそう、防災に関するお得な情報を聞ける雰囲気があったのではないと推測する。テーマであった、防災は企画や配布資料が豊富だったことで、初めて「災害」について知れるきっかけになった参加者もいた。

また企業の協力があつたことで、防災品の紹介、試食、その説明で会話ができたことで防災対策をしやすくなったのでは？と感じられ、今後日頃の防災意識につながるができる。

今後の課題としては、地域のつながりをどうつくっていくか、その点でフォーラムや地区ごとのつながりができるイベントを作るのかという以前に農地に戸建ができ、新たな住民も増えつつあるが、活性化にはつながっていない印象がある。

今回のフォーラムのような、繋がりを生む場を継続させていく工夫や仕掛けが必要である。

明第2西地区

子どもからお年寄りまで
全世代交流イベント!

知ってみんなで
災害に備えよう!

**参加
無料**

非常食の
試食もできる!

坂川 防災 まつり

学んで備える
◎13:00~14:00
坂川や水害の
歴史を知ろう!
(国土交通省)

遊んで防災
グッズをゲット!
◎14:00~15:45
防災クイズ
的あて/棒サッカー
などなど

体験して備える
◎14:15~14:45
AED講習
(松戸市消防局 西口消防署)
◎14:30~15:30
避難所運営ゲーム
(松戸市危機管理課)

日時 2019年3月17日(日)
13:00~16:00
(受付開始 12:45~)

場所 古ヶ崎市民センター2階
(松戸市古ヶ崎 4-3490)
※駐車場の利用はできません。



地区名

明第2東地区

タイトル

明（あきら）のみんなで明るいみらい
～みんなで知ろうあきら地区～

目的

- ・地域の人々が顔見知りになる。
- ・様々な世代同士が互いの体験を学びあえる場にする
- ・明地区の良いところを集める。明地区の宝探し。（歴史、景色など地元発見）
- ・新しい住民に上本郷の歴史を知ってもらって地域に愛着を持ってもらう
- ・地域の現状を皆で共有し、地域の課題は自分たちで解決していこうという意識を持ってもらう。地域課題解決のタネを見つける。

開催日時

平成31年2月20日（水）13時30分から16時00分まで

場所

風早会館

内容

- 明地区の今と昔を振り返るスライドショー
- 風早神社・明治神社のお祭り（獅子舞）の紹介
- 明地区の宝を見つけよう・知ろう
 - ・地域資源マップに、来場者の地域情報を加える
- 展示：情報提供
- お楽しみコーナー
 - ・ハンドマッサージ、整体マッサージ、野菜やパンの販売

当日参加者数

66名（うち運営スタッフ16名）

参加者の傾向

70歳代が55%と多いなか、民生児童委員がお誘いした赤ちゃん連れの親子が5組ほど来場。次に40歳代が35%の割合を占めた。地域の歴史や地図づくりに興味を示し参加される方が多くいた。

参加者の声

- ・地域の新たな発見があった、地域の歴史を知ることができ、おもしろかった。
- ・色々な年代の人と話が出来たのが楽しかった。
- ・住んでいるところとはちがう地区のことなど大変興味深く、よい勉強になりました。
- ・様々な情報があり参考になりました。

評価

- ・実行委員がしっかりと声かけができ、それぞれのフィールドつながりの参加者（町会関係、広場つながりの新住民の親子）に来てもらうことが出来た。特に、お楽しみ企画から、マップづくりへ人が流れたのがよかった。
- ・今までつながっていなかった団体と包括がこれをきっかけに新しい活動が生まれた。
- ・できたマップを今後ウォークラリー等で生かしていくなど具体的な方向が決まっている。

明第二東

明第2東地区地域づくりフォーラム

あきら
明のみんなで明るいみらい
～みんなで知ろうあきら地区～

日時 平成31年2月20日(水) 13:30~16:00
場所 風早会館(松戸市上本郷2678)

明第2東地区の歴史や良い所、すてきな場所について地図づくりを通して、
一緒におしゃべりしてみませんか?
小さなお子様からお年寄りまで世代を問わず参加をお待ちしています!
パン・野菜販売やハンドマッサージや整体マッサージ、授乳室も設けております。

13:30~ はじまり
明地区の今昔がわかる！
スライドショー上映
地域のお祭りや歴史に
ついてのお話

14:50~16:00
地図づくり

★ハンドマッサージ
(13:30~14:30)
★整体マッサージ
(14:30~16:00)
★キッズスペース・
授乳スペースあり
★パン・野菜販売あり!
(売り切れ次第終了)



申し込み不要・参加無料(ハンドマッサージ・整体マッサージは各200円)
問合せ 明第2東高齢者いきいき安心センター TEL:047-382-6294
主催 明第2東地区地域づくりフォーラム実行委員会・松戸市高齢者支援課



地区名

本庁地区

タイトル

松戸宿みんなで探検まちあるき
～車イス体験・クイズラリー・桜まつりを楽しもう～

目的

「ゲーム要素がある」「多世代と一緒に参加することで出会う」「松戸のまちのことを知る」そして何よりも「楽しい」ことをコンセプトとしたまちあるき&クイズラリーを企画した。本庁地区ということもあって地元企業とのコラボレーションを模索したところ、「松戸宿坂川 河津桜まつり」との共催・同日開催となった。

開催日時

平成31年3月3日（日）10時00分から12時00分まで

場所

松戸宿まちあるき 松戸駅スタート/春雨橋親水広場ゴール

内容

- ・松戸の歴史や文化をめぐるまちあるきとクイズラリー
- ・景品として河津桜まつりで使えるチケットをプレゼント

当日参加者数

31名（うち運営スタッフ10名）

参加者の傾向

男性10名/女性11名 大人：19名/子供：2名（小学生）
高齢者の割合が多かった

参加者の声

- ・サロン参加者の高齢者も興味を持ってきて、呼びかけたら参加表明してくれた。
- ・雨の中でも参加してくれた人たちは笑顔でとても喜んでくれた。
- ・知らない人同士でグループをつくってもらうことについて、意外に当日の参加者のみなさんは抵抗なかった。
- ・自分の息子や父も参加したが、雨の中でも元気に楽しんだ。

評価

- ・実行委員の中での情報交換ができ、新しい発想につなげることができた。日頃の地域活動の方向性に「多世代間の交流」を取り入れていく必要性を共有することができた。
- ・雨の場合の対応策をもっとしっかりと考える必要があった。
- ・子どもたちに「歴史が知れるよ」と言って誘ってみたら「学校でも教えてもらってるし」という反応もあった。タイトルやコンテンツで工夫できるとよかったか。
- ・世代を超えてつながれる機会として、まちあるきには可能性がある。
- ・「楽しい」「食」「競争」といった要素をさらに強めて企画を高められると良い。
- ・地域で何かをやるときはやはり町会・自治会に力を借りられると良い（ただし、ちょうど良い組み方・バランスを絶妙に）。
- ・本庁地区の「地域ネットワーク」は広いし、なかなか独特。特に駅周りとはとにかく大きいイベント（市全体・市外向け）が大きく、小さなイベントが気づかれにくいのでテーマを掘り下げることが必要。
- ・本庁地区はイベントが多いものの、「定期的にかかっている居場所」が不足している。次やるなら居場所づくり・グループづくりにつなげていきたい。

本庁

松戸宿みんなで探検



まちあるき

～車イス体験・クイズラリー・桜まつりを楽しもう～

平成 31 年 3 月 3 日 日

松戸駅西口デッキステージ前集合
(9:30 受付) 10:00～12:00

★スタート地点
松戸駅西口デッキステージ前
★ゴール地点
春雨橋観水広場

参加費無料 / 要事前申込 / 先着 50 名
※小雨決行としますが、悪天で中止の場合はご連絡します。

子どもからシニアまで一緒に楽しむ“まちあるき”で、松戸の魅力を探検しよう！
参加者同士でグループをつくりクイズやチェックポイント通過のポイントで競って、
プレゼントも！“松戸宿坂川 河津桜まつり”と同時間帯・コラボイベント！そちらも楽しみに。

<h3>クイズラリー</h3> <p>スタートからゴールまでの間にあるチェックポイントで出題されるクイズに答えよう！</p> 	<h3>車イス・ベビーカー体験</h3> <p>まちあるきをしながら、ベビーカー・車イスでの移動体験をしよう！ 気づいたことをマップに書き込んでね。</p>
--	--

<申込先>本庁高齢者いきいき安心センター (受付時間：平日9時～17時)
メール：hon.yaki-houkatsu@ceres.ocn.ne.jp 電話番号：047-363-6823 FAX：047-710-7189
主催：本庁地区地域づくりフォーラム実行委員会、松戸市高齢者支援課



地区名

矢切地区

タイトル

みんなで話そう！矢切の歴史

目的

知っているようで知らない矢切の歴史をみんなで学ぶことを通じて交流すること

開催日時

平成31年 2月 3日（日）13時30分から 15時30分まで

場所

まつど市民活動サポートセンター 大会議室

内容

矢切の歴史についてみんなで話を聞いた後に、「矢切ねぎの話」「歴史の話」「屋号の話」の3グループに分かれて話を聞いたり自由に話す時間とした。最後に、矢切ねぎの試食をしながら参加者同士で交流した。会場内には、参加者がどこから来たのか印をつけられる矢切マップの設置、矢切地区の名所を解説付きの写真で投影するスライドショー、矢切特別支援学校による活動紹介展示、矢切ねぎの調理レシピの展示や配布等をした。

当日参加者数

105 名（うち運営スタッフ 33名）

参加者の傾向

- ・60代～80代が来場者数の半分を占めたが、10代～50代の参加者も見られた。
- ・矢切地区の全地域から参加者が見られた。特に、会場になった坂上エリアだけでなく、坂下のエリアからの参加もあった。

参加者の声

【矢切の歴史について】

半世紀以上、矢切に住んで知らないことが多すぎた
 矢切の歴史の話はとても参考になった
 “ヤキリ”のいわれなど知ることができてよかった
 楽しく矢切の勉強ができた

【矢切ねぎのレシピ・試食について】

美味しかった。いろんなレシピを知ることができた

評価

- ・イベントの事前打ち合わせや当日の運営を通して、地域の様々な立場の住民の皆様と一緒に働いて相互理解が深まったのがよかった。
- ・斜面林で行き来がしづらかった住民の方たちが一堂に会することができた。
- ・周知期間や周知の方法については工夫が必要。
- ・インフルエンザの流行時期のため子供の参加が少なかった。
- ・特別支援学校の活動を理解してもらうには工夫が必要。
- ・次回はテーマを工夫して子供から大人まで楽しめるイベントにしたい。

矢切

矢切地域の
隠れた歴史・文化
おもしろ情報
発見イベント!!

2019年2月3日(日)
13:30~15:30
(開場13:00)

無料送迎あります!
要予約・定員あり
1/30までに下記問合せ先
まで、ご連絡下さい

※送迎協力
特別養護老人ホーム などでしこ

みんなで話そう! 矢切の歴史

一緒に
「矢切紹介
リーフレット」
を作ろう!
誰でも大歓迎

矢切名物
絶品! 矢切ねぎ
を食べよう!
矢切ねぎ

「最近、この地域に引っ越してきたばかり!」
「長年住んではいるけれど、地元の歴史は意外と知らないなあ。」
という方、集まれ!

会場 まつど市民活動サポートセンター・大会議室
〒271-0094 千葉県松戸市上矢切299-1
総合福祉会館の2階です。京成バス「沼間台」下車すぐ。

主催: 矢切地区歴史づくりフォーラム実行委員会・松戸市高齢者交流課
問合せ先: 矢切高齢者いきいき交流センター(地域包括支援センター)
松戸市上矢切299-総合福祉会館内 電話: 710-6025



地区名

東部地区

タイトル

いい場所居場所みつけましょ！

目的

松戸市内でも人口が急激に伸びている唯一の地区として、(特に東松戸周辺) ご近所でもお互いがわからなかったり、多世代の交流も地区によりばらつきがある。また公共施設や飲食店も多くはなく、各世代にとっての「居場所」といえるような場がない背景から、食や遊び、コーヒーなど通し地域住民にとって居心地の良いと思えるような場を実験的に開き、今後に生かしていくことを目的とした。

開催日時

平成31年3月3日(日) 10時00分から14時00分まで

場所

東部市民センター

内容

子供から高齢者まで多世代が交流でき、それぞれの趣味趣向にあった居心地の良い居場所作り(豚汁作り、豚汁無料提供の食堂、カフェスペース、昔ながらの遊びや多国籍衣装体験、フリースペース)

当日参加者数

102名(うち運営スタッフ 41名)

参加者の傾向

参加者の8割が女性。またうち70代が大半であった。参加者居住地は高塚新田、河原塚が約6割。参加者のうち未就学・小学生が8名いたが、いずれもバス送迎の利用で、近所または徒歩圏内での子供または親子の参加者はいなかった。

参加者の声

「今日の計画は素晴らしい。初めての取組の為宣伝が足りないのも仕方ない。継続的にやるが必要だと思います。準備が大変だったと思います。お疲れ様でした」 以下、参加者へ生活のニーズをヒアリング。一部抜粋。

- ・新しく住民となった方たちが地域で交流できる場所
- ・集える場所が無い。特に東松戸駅周辺。
- ・幼稚園児や小学生が室内で遊べる場所がない
- ・交通の便が悪いところがある

評価

多分野で構成された実行委員で、課題抽出・テーマ設定・フォーラム当日企画・運営をできたことは、今後東部地区としてさらにこのような活動を続けていくきっかけにはなった。東部地区の住民や多世代を対象とした点では以下の課題は残った。

<コンセプトが不明確だった>

今回のテーマでは、内容が漠然としすぎて誘いづらかった。

チラシでは「一体何をやるかわからない」と言われた。

シンプルな内容のほうが伝わりやすい。

<広報に工夫が必要だった>

チラシは単に配布するよりも、各グループのリーダーにお願いするのが効果あり。

口コミが一番集客につながった

各町会、自治会会長への依頼・お願いが弱かった。

チラシの動きは遅かった、1ヶ月前の周知では遅く掲示板への掲示も遅かった。

東部地区

いいばしょ 居場所 みつけましょ!
東部地区地域づくりフォーラム

当日先着100名まで無料提供
カフェでゆったりコーヒーを
一緒に豚汁を食べよう!
みんなで豚汁をつくらう!

ゲームで盛りよう!
何もしないでただ過ごすだけでもOK

事前申し込み先着35名
全世代歓迎!
入場無料

いまの東部地区は多様な世代が交流する場や「居場所」がないのでは? そんな問いから始まった、「居場所」をつくる実験の場です。子どもからシニアまで、もちろん小さな赤ちゃん連れファミリー含め、ご参加お待ちしております!

日時 2019年3月3日(日)
10:00~14:00
(調理予約者 受付開始 9:45~)

場所 東部市民センター
(松戸市高塚新田494-9)
※駐車場のご利用はご遠慮いただき、公共交通機関をご利用ください。ご理解ご協力よろしくお願ひ致します。
・松戸駅東口より松戸新京成バス梨香台団地行きに乗車し終点下車徒歩約1分

問い合わせ・申し込み先 東部高齢者いきいき安心センター(地域包括支援センター)
松戸市紙敷1186-8 第二南花園内 電話:047-330-8866

主催:東部地区地域づくりフォーラム実行委員会 松戸市 高齢者支援課



地区名

常盤平地区

タイトル

《ときわだいら 絆 フェス》
～感じる(^.^)つながる(^.^)助けあう\(^.^)/～

目的

- ・主に子どもたちを対象に、体験を通じて他者への理解を深め、様々な立場の人のことを自分ごとととらえられるようになってもらう。
- ・地域の様々な情報（地域資源）を皆に知ってもらって活用してもらう。
- ・地域の活動・人をつなげて地域連携を進めるスタートとする。
- ・地域に住んでいる人の思いを可視化する。シェアする。

開催日時

平成31年3月10日（日）13時00分から16時00分まで

場所

金ヶ作自治会館

内容

<ステージ>

- ・手をつなぐ育成会による障害の理解を進める寸劇
- ・認知症を知ってもらう寸劇（小・中学生の参加型）

<コーナー>

- ・展示コーナー：地域資源マップの掲示、配布、地域活動団体等
- ・体験コーナー：高齢者疑似体験（浦島太郎セット）
車イスの利用・介助体験・妊婦疑似体験
- ・遊びのコーナー：輪投げ/「ロバ隊長・水引」クラフト作り
- ・パラソルカフェ（外の休憩所）

<全体企画>

- ・スタンプ・クイズラリー
- ・「ときわだいら絆の木」掲示板

当日参加者数

121名 運営スタッフ約20名

参加者の傾向

40、50代が1/3、幼児や小学生も多く、ファミリー層に足を運んでもらうことができた。また障がい者による劇などもあり障がいの方も訪れてくれた。

参加者の声

- ・年齢層が幅広くすばらしいと思います。
- ・障がい、おとしより、赤ちゃんがいっしょにたのしめた
- ・高齢者疑似体験、妊婦体験などそれぞれに大きな発見があった。
- ・工作体験楽しい
- ・常盤平の方はボランティア意識が高いと思います。

評価

- ・子供たちの参加が多く色々な体験を通して学びを提供できた。
- ・実行委員がそれぞれネットワークを活かして、当日の運営のお手伝いや来場への呼びかけをして、賑やかで、多様かつ多世代が集まるイベントとなった。
- ・町会の理解を得て、自治会館を借りることができたが、町会や地域への働きかけに今後はより力を入れていきたい。

常盤平

感じる (^^)
つながる (^^)
助け合う \^^)/

子どもから大人まで誰でも参加できます！
常盤平を知りたい人、
地域につながりが欲しい人、
カフェでゆったり語り合いませんか？

- ・高齢・障がい・妊婦体験コーナー
- ・常盤平地域の紹介
- ・パラソルカフェ
- ・クラフト作り
- ・体験ステージ
- ・謎とモスタンプラリーもあふよ！！

地域づくりフォーラム
ときわだいら
絆
フェス!!

日時: 2019年**3月10日** 日曜日
13:00~16:00

場所: 金ヶ作自治会館
常盤平駅北口徒歩3分
熊野神社横
(無料駐車場60台)

事前申込不要!!
当日のお手伝いキッズ&ボランティア
大歓迎!!

主催: 常盤平地域づくりフォーラム実行委員会
松戸市高齢者支援課

問合せ: 常盤平高齢者いきいき安心センター
☎ 047-330-6150

金ヶ作自治会館
熊野神社

セブンイレブン
常盤平駅北口
踏切



地区名

常盤平団地地区

タイトル

ときわだいら 団地再発見！～生きがいから歴史まで～

目的

- ・住民同士が顔見知りになり、若い世代子ども世代と高齢世代との接点を持つ。
- ・団地、及び周辺の様々な活動（地域資源）を住民の皆さんに認知してもらい、活用してもらう。
- ・団地に愛着を持ってもらい、団地の活性化に興味のある人を掘り起こす。
- ・地域の課題は地域の人で解決していく、という意識を醸成し、今後の地域ケア会議につなげていく。

開催日時

平成31年3月3日（日）12時30分から15時30分まで
 ※その後1時間バンド演奏あり

場所

常盤平市民センター ホール

内容

- <コーナー>
- ・地域資源マップの掲示、配布
 - ・地区社協の出張いきいきサロン
 - ・団地自治会による団地を知るコーナー
 - ・活動団体出展ブース（10か所）
 - ・ワンストップサービス相談ブース
 - ・ステージ
- <全体企画>
- ・クイズラリー 景品 アンケート

当日参加者数

参加者185名、運営スタッフ85名、実行委員12名
 ※参加者が運営と重なっている可能性あり

参加者の傾向

出展者やステージ出演者を除いた来場者では60代以上が中心。同日URの交流会を終えて参加した中国人がファミリーで来てくれた（20代の独身層、30代の子育て層）

参加者の声

- ・アンケートより大多数のかたから、楽しかった、という評価を受けた。
- ・団地のことを知ることが出来た。ともだちができた。
- ・電話相談の方と対面で会うことが出来た。色々な活動があることがわかった。
- ・独居の方に喜んでもらえた。
- ・早速お米の寄附があった（子ども食堂）

評価

- ・やはり高齢者の来場が多かった一方で、今回URと連携して中国の若い方も多く参加し、地域の活力となり得る資源であることも実感された。
- ・確固たるフォーラムのイメージが共有されていたとは言えない中で、団地という形態が持つ人的、及び物理的強みが実感された。
- ・今回は来場者が楽しめ、多くの団体（＝地域資源）が準備期間も含めて交流できた。次回への明確な展望があったうえでの開催とは言えないこともあり、今後もこのスタイル（地域資源が一堂に会する機会）を取るのか、「高齢者」「子育て」などテーマを絞るなどしてより具体的なアクションにつなげるのか、検討が必要である。

常盤平団地

地域づくりフォーラム **2019年3月3日(日)**
 ときわだいら
 場所: 常盤平市民センター・ホール
 時間: 12:30 ~ 15:30
 (ステージは16:30まで)

団地再発見

～生きがいから歴史まで～
 常盤平団地の内外で活動する団体や資料を一室に集めました。
 子どもから大人までときめきを探しに来ませんか? **入場無料**

団地で生きがい発見

- ◎ カラオケ仲間・おしゃべり仲間
仲間を作るならときわ会
- ◎ 体を動かすならテニスや
グランドゴルフ
- ◎ 街を綺麗にしたりする社会貢献
は常盤平環境会議

団地を知る(団地自治会)

ボール公園、 子と清水の碑、
 夢竹公園、 健康長寿の碑、
 噴水広場、 その他

常盤平団地今昔写真展
 会報「ときわだいら」60年を目指す

常盤平団地の活動団体
(裏面参照)

団体ブースを回ってスタンプを
集めると素敵な景品がもらえます。
※数に限りあり

**暮らしの困りごと
よろず相談**

相談員がお話を伺います
<常盤平団地地区社協/常盤平団地包括/ふれあい相談室>

出張いきいきサロン

コーヒー、こぶ茶 100円
 ロールケーキが付いて 150円

ステージ (音楽はいつも心ときめきを与えてくれます)

13:00 ~ 常二学童クラブによる演奏と踊り
 14:30 ~ ヒロアキ
 15:00 ~ アキラ & アスカ
 15:30 ~ 広瀬俊行トリオ・吉田マミ

主催: 常盤平団地地域づくりフォーラム実行委員会・松戸市高齢者支援課
 問合せ先: 常盤平団地地域包括支援センター
 TEL: 047-352-6135 (10:00)



地区名

五香松飛台地区

タイトル

学べる！遊べる！つながる！
～知らないひと・知らないことを知ろう～

目的

- ・子どもたちが体験を通して、色々な立場の人のことや自分が暮らすまちについて学ぶ機会にする
- ・様々な立場を受け容れられるまちをつくろうという思いを広げる。
- ・地域MAPを利用した情報交換やインタビューなどを通して、地域への思いを見える化し、今後の地域づくりにつなげる。

開催日時

平成31年2月16日（土）10時00分から12時まで

場所

松飛台第二小学校 体育館

内容

<コーナー>

- ・障がい者体験（アイマスクを利用した視覚障がい体験）
- ・昔遊び体験（ゴム鉄砲射的、コマ回し、けん玉、ベーゴマなど）
- ・地域資源MAP→参加型マップづくり（お話を聞く←地名、体験など）
- ・休憩コーナー（飲み物提供、福祉作業所の販売コーナー）
- ・認知症サポート劇（校長、教頭も出演）

<全体企画>

- ・インタビュー（アンケート）して課題や地域への思いを把握する

当日参加者数

105名（うち運営スタッフ36名）

参加者の傾向

会場が学校だったこともあり、未就学児～小学生が55名と約半数が子ども世代。20代から80代まで幅広い世代から偏ることなく参加があった。
（20代5名,30代7名,40代9名,50代4名,60代5名,70代12名,80代7名,不明1名）

参加者の声

- ・障害体験は、貴重な体験ができた。伝える事のむずかしさを知った。
- ・どのブースも楽しく学べました。認知症のことを、劇やクイズにしたり、目の見えないお買いもの体験など・・・楽しみながら、知ることができるアイデアに大変感心しました！
- ・障害者体験は工夫されていて、とてもよい企画だと思いました。地域の方とのご協力がすばらしいと思います。
- ・子どもや地域の方々から情報を得て作成しているマップは非常に良かった。

評価

- ・アンケートだけでなくヒアリングも組み合わせたことで、子どもたちの意見を引き出すことが出来た。
- ・それぞれの担当者が企画を練り上げて、専門性と得意技を発揮できた。
- ・専門職と地域の方がつながる機会になった。
- ・基本的には子どもが中心の企画だったが、大人の参加も意外と多かったので、全世代を巻き込んでいける内容にパワーアップしていけるとよいのでは。
- ・今回は「知る」をテーマとしたため、今後は知った。次のステップとして、「何ができるか」をテーマにしていきたい。

五香松飛台

五香松飛台地域づくりフォーラム2019

学べる! 遊べる! つながる!

~知らないひと・知らないことを知ろう!~

2/16 (土) 10時から12時

場所: 松飛台第二小学校 体育館




障がい体験... 目の見えないかたがどんなことに困っているか知ろう!
昔あそび体験... あそびの達人と仲良くなろう!
まちの地図を作る... 住んでいる町のことを知ろう!
寸劇に参加する&楽しむ... 楽しく認知症を学ぼう!

景品あり!
福祉作業所の販売品あり! お菓子、アクセサリーなど
コーヒーやお茶でゆっくりできるスペースあり
まちのこと・暮らしのこと色々話したい・知りたい人・大歓迎!

うわばきを持って来てね
駐車場はありません・自転車OK

主催: 五香松飛台地域づくりフォーラム
実行委員会・松戸市高齢者支援課
問合せ: 五香松飛台高齢者いきいき安心センター
047-385-3957
申込不要・入場無料

体験したい・遊びたい人 話したい人 みんな来てね



地区名

六実六高台地区

タイトル

自慢できるまち 六実六高台地区！
～ここで仲間を見つけよう～

目的

- ・地域に仲間や知り合いを増やして、世代を超えたつながりを重層的につくることを目指す。
- ・地域の様々な特技や資源が集まり、色々な団体のPRの場、宣伝の場として、ここにくると地域のことがわかるようにする。
- ・地域のつながりがない人に地域で活躍する場を見つけてもらう。
- ・自慢できる地域を作っていこう、という気持ちを醸成する。

開催日時

平成31年3月16日（土）14時00分から16時00分まで

場所

六実市民センター ホール

内容

- 六実六高台150周年スライドショー
- 活動PR（1団体1分程度）
- ブースで交流（ブースで話す）
- 六実の自慢クイズラリー
- スタンプラリー（スタンプを10個集めると景品と交換できる）

当日参加者数

106名（うち運営スタッフ10名）

参加者の傾向

- ・60歳以上が8割を占めるような年齢構成で、子ども世代の参加はなかった。（一人六実在住の学生が参加してくれた）
- ・包括や民生委員つなぐりの地域につながりを求めている人も来てくれていた。

参加者の声

- ・六実の歴史紹介コーナーは知らないくらい大昔の話でおもしろかった。地元民&学生としてこれからの地域活性化に協力していきたいと思える時間となりました。
- ・六実・六高台に在住して44年。今まで知らなかった事、気付かなかった事が沢山！ありました。これから元気に明るく楽しく過ごすためにこれを機会に仲間づくりをしたい。
- ・単発ではなく積極的に開催されるように期待します。

評価

- ・地域の19団体が出展して、自分たちの活動をアピールすることが出来た。
- ・子ども関連のネットワーク団体が参加していたが、その傘下の団体への声かけまで至らず、子どもの参加がなかったのが課題。学校や現役世代への巻き込みを検討要。
- ・実施したことで地域団体の交流イベントの意義が分かったという声と継続することでより効果が出てくることを踏まえて今後も続けていきたい意向あり。

六実六高台

六実六高台地区 地域づくりフォーラム2019



六実六高台地区！
～ここで仲間を見つけよう！～

3/16 場所：六実市民センター ホール
(土) 14:00～16:00

- 150周年記念スライドショー
- 地域活動・サークル活動などの紹介

#地元発見
#ちいきとつながる
#仲間が見つかる
#いろんな人と出会える



申込不要・入場無料

主催：六実六高台地区地域づくりフォーラム 実行委員会・松戸市高齢者支援課
問合せ：六実六高台高齢者いきいき安心センター 047-383-0100



地区名

小金地区

タイトル

小金発見！ミステリーツアー
～ヒントをもとにミッションクリア～

目的

地域の課題を検討した際、「支援が必要な人たちは自分自身が必要と感じていない」ことや「本当に支援が必要となってからではつながることが難しい」といったことが挙げられた。そこで本企画では、あまり地域とのつながりのない人、特に子育て世代をメインターゲットとして街歩きを通してゆるやかに顔がつながる機会として、福祉資源を知り、また小金地区に愛着を持ってもらうことを目的として実施した。

開催日時

平成31年2月23日（土） 10時から13時30分まで

場所

小金小学校・校庭～第2いぶきの広場（福祉施設）
途中：包括支援センター、高齢者デイサービス、お寺など歴史資源

内容

- ①子ども・保護者・地域のシニアが混じった班で街の福祉資源をまわる
…小学校の校庭に参加者が集まりオリエンテーションを行った後、民生委員やオレンジ協力員などの方を付き添い役として7名程度のグループで地域を回っていった。配布した地図を見ながら福祉資源や歴史資源の5か所を訪問し、それぞれの場所で説明を聞いていった。
- ②地域の人たちによる炊き出しをみんなで食べる
…最終ゴール地点では町会や青少年相談員の方々に協力いただき、豚汁と餅を作っていた。

当日参加者数

243名（うち運営スタッフ 約100名）

参加者の傾向

- ・全体の8割くらいは保護者と子ども（約半分）
- ・子どもは小学校低学年を中心に乳幼児も何組か同伴していた
- ・1割～2割が街歩きを目的にきたシニア層
- ・学校を経由してもらったチラシを見た方が多かった

参加者の声

- ・5歳と1歳の子どもと参加しました。内容はすごくおもしろく、発見ばかりでした。
- ・みんなで助け合って生活していくんだなと思いました。またこのような機会があれば参加したいです。お年寄りに対しての支援が充実していること（意外でした）
- ・初対面の方々とお話ししながらまわってたのしかったです。スタッフの方が付いていて安心してまわることができました。
- ・歴史のあるまちだと再認識しました。しかも身近に！

評価

良かった点：接点を作りづらい子育て世代を巻き込み、多世代のコミュニケーションができた。イベントをきっかけにして地域の様々な担い手がつながることができた。普段足を踏み入れることのない人たちに福祉施設のことを知ってもらえた。
改善点：多くの関係者の協力による成果の反面、情報共有・協力依頼の難しさがあった。ベビーカーの参加、子ども（特に小さい子）には距離が遠すぎたかもしれない。ミステリーツアーとPRした割には企画の中身で楽しめる要素が少なかった。

小金地区

主催：小金地域づくりフォーラム実行委員会
松江市高齢者支援課

小金発見!!

ミステリー ツアー

2/23 (土)

～ヒントをもとにミッションクリア～

概要 2019年2月23日 (土) 10時～13時半
小金小学校の校庭に集合～
第2いっきの広場で解散

申込み 下記の申込みフォーム、または
小金高齢者いきいき安心センター
までご連絡ください。先着150名

小金に突然やってきた宿敵「ショウシコウレイカー」は地域に暮らす住人を不安におとしめている。今回のミッションは指令室から出されるヒントをたよりに様々な人を探し、小金に隠されたナゾを解くこと。子どもからシニアまで、家族みんなで参加して全てのミッションをクリアしよう！

このイベントでは子育て支援～高齢者支援、障がいに関わる施設など、地域にある福祉資源や歴史にまつわる場所を巡り、小金の地域力にふれることができる内容になっています。どなたでもご参加ください。

最後のトン汁 & つきたて餅
をみんなでご食べよう!!

このイベントでは子育て支援～高齢者支援、障がいに関わる施設など、地域にある福祉資源や歴史にまつわる場所を巡り、小金の地域力にふれることができる内容になっています。どなたでもご参加ください。

右のQRコードを読み込み、URLのリンク先から名前・参加人数、連絡先などを入力ください。
※乳幼児の子供の託児、障がいをもちの方や介護を必要とする方の預かりを希望される方は、2/15までにご連絡ください。詳細についてご連絡いたします。

申込みについて

■お問合せ・申込み先：小金高齢者いきいき安心センター
(TEL 047-374-5221、メール koganehakken@yahoo.co.jp)

■協力：小金地区社会福祉協議会・第2いっきの広場・小金のぼの食堂の会・元気サロンツツ木・小金けんき友の会



地区名

小金原地区

タイトル

親子でも来れる「みんなの居場所つくってみました」

目的

高齢者、障害者、子育て世代などの支援サービスを提供する人たちの対象者の壁を越えた顔の見えるネットワークづくり

開催日時

平成31年3月2日（土）11時00分から13時30分

場所

caféキラク（第2喜楽家内）

内容

- ①地域住民誰でもが来てつながれる「居場所」を具体的に体感してもらう
- ②地域の様々なサービスや居場所をマップに落とし込んで「見える化」する
- ③地域包括支援センターをプラットフォームとした地域資源の連携の促進
 - ・地域の居場所マップ
 - ・焼きそば、コーヒー提供
 - ・caféキラク、第2喜楽家施設見学
 - ・子供の遊び場
 - ・阿蘇のアイス屋からのアイスの試食

当日参加者数

78名（うち運営スタッフ10名）

参加者の傾向

小金原地域：80%
その他、近隣、柏市から参加

参加者の声

- ・規模は小さくても子ども、障害者でも気軽に来れる場が欲しい
- ・地域の他の人ともつながりたい
- ・施設（第2喜楽家）のを知ることができてよかった
- ・家族に精神的に困難を抱えている人がいて相談できる場所が欲しい。

評価

「実行委員同士の顔の見えるつながり

1. 小金原エリアに新しくできた地域の拠点との繋がりが出来た
cafeキラク、阿蘇のアイス屋とは、今回のイベントを通じて新たにつながった。類似の地域資源と、今後のつながり方、可能性を知ることができた。
2. 子育て世代の方が、より地域の繋がりを求めている
行政の高齢化率は団地も含めているからであって、子育て世代が増えていると改めて実感した。

小金原地区

小金原地域づくりフォーラム

3/2 (土曜) 11:00 ~ 13:30

cafeキラク (第2喜楽家内)

※駐車場はありません
※駐輪場、ベビーカー置き場があります。

「親子でできる
みんなの居場所
つくってみました」

小金原地域の地図に「親子で行ける人気スポット」「地域にあったら良いな、と思うアイデア」をまとめた地域の居場所が見えるマップを作ります。会場は2018年9月に地域の居場所としてオープンした「cafeキラク」(施設見学も可能)。温かいお茶を飲みながら、気軽に話せるスペースを用意しています。また軽食や「阿蘇のアイス」(試食用)も数量限定で用意しますので、ご家族でお気軽にお越しください。

■参加費無料 ※申込みは不要です、直接会場にお越しください。
■会場:cafeキラク(第2喜楽家内) 小金原3-7-15 ※詳細はQRコードからご覧ください。
■主催:小金原地域づくりフォーラム実行委員会・松戸市高齢者支援課
■お問合せ:小金原高齢者いきいき安心センター(TEL:047-383-3111)




地区名

新松戸

タイトル

「食」でつながる、新松戸。

目的

子どもが安心して歩ける街、シニアも安心してくらせる街は、居場所などの取り組みエリアが重なって切れ目の無い街、と考え、集いやすい「食」をテーマにサロン・交流会を開いている現場の人たちの想いやお互いのやっていること・課題を共有する

開催日時

平成31年3月9日（土）14時00分から16時30分まで

場所

新松戸市民センター 2Fホール

内容

事例発表：「五番街ふれあいセンター」「新松戸みんなの食堂」
えんたくん（円卓型ダンボール）を使ったグループトーク
グループトーク①…自己紹介+聞いてみたいこと/気になったこと
グループトーク②…自己紹介+いま気になっていること+私（たち）がやっていること

当日参加者数

58名（うち運営スタッフ 11名）

参加者の傾向

回収数34のアンケートより。

サロンに取り組んでいる人たちがほとんどで、70代が一番多い（18名）。現役世代の40台・50台の参加も6名あった。男女比では、男性が若干多かった。実行委員と地域包括支援センターが連携し、大部分のサロン運営者に来てもらうことができた。

参加者の声

■感想

『食』に関する内容がテーマと思って参加した"地域づくり"が主な内容であることが分かり、かえって色々と勉強出来、それぞれの悩みが同じと言う事も納得。戸建ての町会の大きな悩みも痛切に感じた。

他所の活動例を知ることができた。2丁目の活動の参考になった。

良い企画。ダンボールの円卓good idea。個人情報扱い、どのグループも悩みの種。

■今後のイベントへの期待

色々な方、団体と交流する機会を通してネットワークを築ける会

単体で活動しているのですが、管理組合、地域との連携等サジェスションが欲しいものです。

評価

この地区では、まちなかの一人ひとりに集ってもらう形式ではなく、「食」という切り口で人々をつないでいるサロン運営者が、課題を共有し、互いに情報を持ち帰る内容を企画した。担い手に困っている現場へ、余暇のある人達をどう引っ張るかは引き続き課題である。

多くの町会・自治会・サロンは来てくれたが、まだ「全町会」ではない。どうやって来てもらうか。継続は力なりとしていきたい。

新松戸

「食」でつながる、新松戸。

高齢者向けのお食事会やサロン・子ども食堂など、増えてきた「食」「お茶」でのつながりづくり。会を続ける中での担い手集めや、参加者を募っていくための、知恵や悩みを出し合いませんか？



要申込
無料
定員
100名

申込・問合先：
新松戸地域包括支援センター
☎ 047 (346) 2510
FAX (346) 2514
メール zaishi.smt@ims.gr.jp

平成三十一年 2019 Mar. 9 土曜日
14:00 - 16:30

会場：新松戸市民センター 2Fホール

主催：新松戸地区地域づくりフォーラム実行委員会、松戸市高齢者支援課
協力：アルク友の会、五番街ふれあいセンター、NPO 法人さわやか福祉の会松戸くらしの助っ人、新松戸地域包括支援センター、新松戸地区高齢者支援連絡会、新松戸みんなの食堂、NPO 法人まつど NPO 協議会、NPO 法人 MamaCan



地区名

馬橋西地区

タイトル

みんなあつまれ！おしゃべりタイム

目的

長年暮らしている高齢者（独居も）と新しく駅前に暮らしている子育て世代に世代間の壁がある。地区の中でも場所によって課題が異なる。町会や社協が行っているお祭りにはたくさん子どもたちが来るがその時だけの接点でつながりにならない。町会費を払っていない、入会していない若い人たちもいて、回覧板が回せないため情報がいかず、結果的に交流もできず巻き込むこともできない。といった課題が挙げられたため、多世代でゆるやかに話せる井戸端会議のような場づくりを目的に実施した。

開催日時

平成31年2月9日（土） 10時から12時まで

場所

シニア交流センター大会議室

内容

①多世代で地域についておしゃべりしながらお互いの理解を深める

…4名ほどのグループを作り、あらかじめ実行委員会で考えた地域や自分の暮らしに関するお題を元に話していった。ゲーム感覚でテーマを設定し、話やすい雰囲気づくりを心掛けた。

②小さな子どもを連れて参加できる企画

…キッズスペースを設けて小さな子ども連れでも保護者が安心して話せるように準備をした。

当日参加者数

28名（うち運営スタッフ 8名）

参加者の傾向

- ・ 民生委員のつながりなどで地域の担い手の方々が7割以上
- ・ 地区内の元気応援くらぶに通っているシニアの女性4名が参加
- ・ 一組だけ親子DE広場を経由して、ママと女の子が参加

参加者の声

- ・ 地域を語る会に初めて参加しましたが、いろいろ活動されていることが分かった。
- ・ 馬橋について、知らないことをたくさん聞かせていただいてとっても楽しかった。
- ・ 地域の歴史を全然知らないので聞くことができてよかったです。
- ・ 雪が降って残念でしたが、住んでいる街、地域について知る機会はとても大切だと思います。
- ・ 住んでいる人から聞くことで親しくなることができますと思います。

評価

- ・ 今回は天候のこともあり、高齢者に偏ってしまったが若い人たち、団塊の世代も入ることで新しい発想やアイデアが広がってくるのではないかな？
- ・ 自分はもう面倒を見てもらう歳になってきた。下の世代にこれからの街のことを考えていってもらうように渡していきたい。
- ・ 今回の会場は地域の端の方であったこともあり、集客も難しかった。地区によっても課題が異なるので、他の場所でも取り組んでいきたい。

馬橋西

みんなあつまれ！
おしゃべり
タイム



子どもたちが
地域でつながる
ところって？

多世代で集える
ところって
あるかな？

「多世代で地域について
おしゃべりしてみよう！」 

子育て世代～シニアまで、地元のお菓子を食べながら、馬橋西での暮らしや地域のつながりについておしゃべりしてみませんか？

☆お菓子は先着40名となります
☆お子様と一緒にの参加大歓迎です

「子どもも楽しめる！
いろいろキッズコーナー」

- ①安心&くつろげる乳幼児コーナー
※授乳やおむつ替えは、三階のおよこDE広場をご利用ください
- ②おじいちゃんおばあちゃんとボードゲームしてみよう！
- ③折り紙達人と一緒に折り紙の動物園をつくろう♪ 

日時：2019年2月9日(土)10時～12時 申し込み不要・当日受付
場所：シニア交流センター 大会議室
主催：馬橋西地域づくりフォーラム実行委員会・松戸市高齢者支援課
問合せ：馬橋西高齢者いきいき安心センター (TEL:047-711-9430)



地区名

馬橋地区

タイトル

馬橋までイッテQ

目的

地域で活動している人たちがとにかく忙しいという状況で、次の地域の担い手になる世代がほとんどいないため、役員が高齢化しても現場で頑張っているという課題が挙げられた。また保護者世代と町会の接点になっていた「子ども会」も縮小を続けていて存続すら危うい状態になっている。これらの背景から、まずは保護者世代とつながりコミュニケーションを図れる場づくりを目的に実施した。

開催日時

平成31年2月24日（日） 13時から15時30分まで

場所

フィットネスガーデン馬橋

内容

- ①子どもと保護者が参加しやすい工夫をしてゆっくり話せる場を作る
…子ども向けには的あて、クラフトづくり、ピンポン玉よけゲームなどを用意し、それらを回るスタンプラリーを行った。また保護者向けにはコーヒーを無料で出したり、地元のお菓子を食べられるコーナーを設けて地域住人と交流できるようにした。
- ②子ども会の情報をPRして知ってもらう
…掲示物や動画を用意し、子ども会役員も終始参加して説明した。

当日参加者数

55名（うち運営スタッフ 約15名）

参加者の傾向

- ・子ども連れで参加した親子が3割ちょっと
- ・健康セミナーに参加した後に立ち寄ったシニア
- ・生活圏域は概ね、馬橋・馬橋西から参加
- ・子ども会役員、健康推進委員、町会長なども参加
- ・子どもはタイトル・企画に魅かれて参加をした
- ・親子参加者は最後まで滞在する人が多かった

参加者の声

- ・地域の方とお話できて楽しかった（30代）
- ・気軽に交流を持てる集まりがあると良い（40代）
- ・子どもが楽しめるコーナーが多くて良かった（30代）
- ・いろいろと地域のことを知ることができた（30代）
- ・町内会について無知であったことに気づいた（40代）
- ・地域でも知らないことがあり、知る方法がなかなか無い（50代）

評価

- ・実行委員会が始まった時には目的がわからず、高齢者向けの何か？だと思っていたが、実際にイベントをやったことで地域にとっての意味を感じた。
- ・PR不足だったかもしれないが、結果的にはちょうどゆっくり話せる人数だった。
- ・子どもたちがあきずに最後まで遊んでいた。大人がそれぞれのブースにしっかりとついていて、シンプルだけど楽しかったから？親が同室にいたからかもしれない。
- ・子どもが安心して遊べていて、親がゆっくり話せる場づくりは活かせるのではないか。

馬橋地区

馬橋まで イッテQ

2 / 24

(日)

「子どもたちが多世代で遊べる関係って
どうやって作るんだろう？」
「しばらく馬橋に住んでいるけど、地元で
どんな人が暮らしているか分からない」
「子ども会をやっているけど、これから
続けて行けるか不安…」



そんなモヤモヤをゆるくおしゃべりしたり、地域の情報が知れるイベントです。
体を動かしたり、美味しいものを食べたりしながら親子でご参加ください

【地元のお菓子が食べれるママcafe】
…お菓子は有料販売、ドリンクは無料です。

【フィットネスで体を動かしてリフレッシュ】
…体を使ったゲームやエクササイズを体験！

【フェルトで作るロボの可愛いコースター】
…自分の好きな飾り付けで作品を作れるよ♪

【珍獣ハンターになって的を倒そう】
…弓を使ってハイスコアを目指してみよう！

☆キッズコーナーの企画を全てクリアした
人にはお楽しみの景品をプレゼント！







アクセス：フィットネスガーデン馬橋
馬橋駅東口を出てコンビニのある道を
直進して突き当りを右折。徒歩約5分



※駐車場はありません。公共交通機関
やコミュニティバスをご利用ください。
●松戸市ゆめバス（中和倉コース）
詳細は下のQRコードから見れます。

■日時：2019年2月24日(日) 13:00～15:30 ■参加費無料、申込み不要

■会場：フィットネスガーデン馬橋 4階ホール(馬橋1890-1)

■主催：馬橋地域づくりフォーラム実行委員会・松戸市高齢者支援課

■お問合せ：馬橋高齢者いきいき安心センター(TEL:047-374-5533)





地区名	実行委員数	イベント名	キーワード	参加者数
明第 1	7 人	あったか芋（いも）ん - 寒いのでお芋を焼きます -	屋外交流	415 人
明第 2 西	5 人	坂川防災まつり	防災	126 人
明第 2 東	9 人	明のみんなで明るいみらい ～みんなで知ろうあきら地区～	地域の歴史	66 人
本庁	7 人	松戸宿みんなで探検まちあるき ～車いす体験・クイズラリー・ 桜まつりを楽しもう～	まちあるき	31 人
矢切	7 人	みんなで話そう！矢切の歴史	地域の歴史	105 人
東部	10 人	いいばしょ居場所みつけましょ！	活動紹介	102 人
常盤平	8 人	ときわだいら絆フェス～感じる（^^） つながる（^^）助けあう\（^^）／～	多世代交流	121 人
常盤平団地	8 人	ときわだいら 団地再発見！ ～生きがいから歴史まで～	活動紹介	185 人
五香松飛台	6 人	学べる！遊べる！つながる！ ～知らないひと・知らないことを知ろう！～	多世代交流	105 人
六実六高台	6 人	自慢できるまち 六実六高台地区！ ～ここで仲間を見つけよう！～	活動紹介	106 人
小金	4 人	小金発見！ミステリーツアー ～ヒントをもとにミッションクリア～	まちあるき	243 人
小金原	7 人	親子でも来れる 「みんなの居場所つくってみました」	多世代交流	78 人
新松戸	5 人	「食」でつながる、新松戸。	対話の場	58 人
馬橋西	7 人	みんなあつまれ！おしゃべりタイム	対話の場	28 人
馬橋	5 人	馬橋までイッテ Q！	対話の場	55 人
合計	101 人			1824 人

05 エンディングトークセッション

目的

15 地区で実施した話し合いの経緯やフォーラムで得られた成果と課題など知見を共有し、またゲストからのフィードバックを踏まえた上で今後の地域づくりに活かすことを目的として開催した。

概要

日時：2019年3月27日（水）
13：30～16：00
会場：商工会議所大会議室
ゲストスピーカー：湯浅 誠氏
参加者数：74名
内容：15 地区の実行委員がそれぞれ発表を行い、その後ゲストによる講評、講演を行った。

ゲストからの講評

- ・15 地区一斉にやるということに対して、無理があるのではないかという印象を持っていたが、最終的にはそれぞれの地区で人がつながる企画が行われたと感じている。
- ・「何かやってみると意外と人が集まる」…日常の中では地域の活動に関わる人がいないと感じることも多いが、何かきっかけを作ることで思いがけない出会いがある。そうした賑わいを作ることが大切。
- ・「やる前に考え込みすぎない」…何かをやろうとするとその成果は何なのかといった議論が始まるが、そこに労力を費やしすぎて疲れてしまうことがあるので、まずはやってみてから振り返る。
- ・「できる人ができることからできることをやる」…地域の中で一部のみに偏って進めるのではなく、無理をしない範囲で多様な人を巻き込み少しずつ力を出し合う。
- ・フォーラムとは「広場」を意味し、多様な人が集まる場を作ることだが、今回の事業をふりかえると概ねそれが達成されていたのではないかと感じる。
- ・一方で大事なのはそこに来られない人、取りこぼされている人に目を向け、どうすれば減らせるかを考えることなので、今後も継続して議論して欲しい。



2018年度地域づくりフォーラム報告書

発行：2019年3月30日

発行者：松戸市

作成：特定非営利活動法人まつどNPO協議会

主催：松戸市

